

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果を発揮できる内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 整備に向けた機運 1) 大規模災害に備え、防災施設の整備に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 整備に向けた機運 2) 継続的な防災体制の整備及び公園利用促進の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年09月30日

計画の名称	安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和07年度（4年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	横手市													
計画の目標	赤坂総合公園は、秋田県地域防災計画及び横手市地域防災計画において広域防災拠点として位置づけられており、大規模災害発生時には自衛隊や警察、消防等による救援活動、災害復旧、復興活動の拠点となるベースキャンプの設置、防災関係機関の相互調整のための総合防災指揮本部の設置、医療支援の拠点となる医療本部の設置に加え、地域住民のための避難所や避難場所を設置することが計画されている。そのため、それらの機能を果たすために必要な屋内施設として体育館を整備し、横手市民のみならず秋田県南広域における安全・安心な暮らしを支える総合的な防災機能とスポーツやイベントによる健康増進・交流促進機能の向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		7,640	A	7,640	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R7末
1	防災機能の向上を図り、避難者の受入可能人口を0人（R4）から700人（R7）へ増加させる。 地域防災計画における想定避難者数と周辺の既存避難所収容人数から施設整備後の避難所収容人数を算出する。 目標値は施設整備後に必要となる避難所収容人数から算出。	0人	人	700人
2	公園施設を整備することにより、年間の公園利用者数を114,500人（R7）へ増加させる。 施設整備後の年間公園利用者数を測定する。 現況値は令和3年度実績、目標値は現在の横手体育館の年間利用実績を基に、整備計画床面積により按分して算出。	24300人/年	人/年	114500人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
横手市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A全て																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	横手市	直接	横手市	-	-	都市公園事業（赤坂総合公園）（ 5 か年防公）	災害時に広域防災拠点となる 体育館整備 A=3.1ha	横手市	■	■	■	■		200	2.09	-	
	A12-002	公園	一般	横手市	直接	横手市	-	-	都市公園事業（赤坂総合公園）	災害時に広域防災拠点となる 体育館整備 A=3.1ha	横手市		■	■	■		7,440	2.09	-	
											小計							7,640		
											合計							7,640		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	100	650			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	100	650			
前年度からの繰越額 (d)	0	100			
支払済額 (e)	0	295			
翌年度繰越額 (f)	100	455			
うち未契約繰越額(g)	100	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	【補正予算・2次補正】補正予算成立時期を考慮すると、財政法上の会計年度末までに事業を完了するのは困難であり、補正予算成立を踏まえ抜本的に事業計画を見直す必要が生じたため。				

社会資本総合整備計画（都市公園） 参考図面

計画の名称	安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全）	交付対象	横手市
計画の期間	令和4年度～令和7年度（4年間）		

番 号:A12-001
要素事業名:都市公園事業(赤坂総合公園)(5か年防公)

番 号:A12-002
要素事業名:都市公園事業(赤坂総合公園)

横手体育館建設